令和6年度　デジタル田園都市国家構想交付金事業について（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ））

資料２

1．デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）の活用

＜交付金の趣旨＞

地域再生計画に記載された、地方版総合戦略に基づく地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を、複数年度（概ね5か年度以内）にわたり安定的・継続的に支援するため、創設されたもの。

＜対象事業＞

①先駆性のある取組（官民協働、地域間連携、政策間連携、デジタル社会の形成への寄与等の先駆的要素が含まれる事業）

②先駆的・優良事例の横展開

③地方創生の観点から取り組む未来技術を活用した新たな社会システムづくりの全国的なモデルとなる取組

2．草津市における「デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）」対象事業

事業名 担当課 計画期間	予算額(円)	交付金 補助率	事業概要および事業内容	総合戦略における 事業の位置付け	重要業績評価指標（KPI）		事業終了後の実績値		実績値を踏まえた事業の今後について		外部有識者からの評価	
					指標	目標値	実績値	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由	事業の 評価	外部有識者からの意見
(1)事業名 三方よしの持続可能な健康寿命延伸プロジェクト (2)担当課 草津未来研究所 （UDCBK）、健康福祉政策課、健康増進課、スポーツ推進課 （滋賀県、草津市、愛荘町による連携事業） (3)計画期間 令和4年度～令和6年度	令和６年度 【全体分】 129,207,000円 【草津市分】 22,749,000円	令和６年度 【交付金】 11,374,000円 【補助率】 1/2	【事業概要】 『誰もが生涯、自分らしく、「からだもこころも」健やかに仕事や地域活動に取り組むことができるまち』の実現に向け、「ビジネス化による地域経済活性化」や「主観的健康感の向上のための取組」などを推進する。 【事業内容】 ・働き盛り世代、若年世代向け健康づくりイベントによる地場産業の振興 ・立命館大学との共同研究事業を通じた、健康状態に関する新たな評価方法やそれに連動した運動プログラムの開発 ・医療専門分野と連携した地域交流型イベント等の実施により、健康づくりに対する知識の普及と、参加者間・地域間の交流や市民と専門家等との交流の場の創出を行う取組 ・3密を回避し、市民が集いやすい公共空間の在り方や活用方法に関する先進的な調査データや研究事例を活用し、整備に向けた学習事業や社会実験準備事業等を実施する取組	【戦略目標】 地域の支え合い推進プロジェクト	(1)本事業の取組により事業化・商品化した数 現状値:R3　　0件	R4　14件 R5　21件 R6　18件						
					(2)主観的健康感の向上に関する取組に参加した県民の数を６万人とする 現状値:R3　　0人（延）	R4　　15,000人（延） R5　　22,000人（延） R6　　27,600人（延）						
					(3)県政世論調査で「健康的な生活を送れていると感じるか」という問いに対し「感じる」と答えた県民の割合を50%とする 現状値:R3　　40.2%	R4　+3.00%(43.2%) R5　+3.00%(46.2%) R6　+3.80%(50.0%)						

事業効果は、KPIの達成度に基づき、事業担当課が評価

事業がKPI達成に「有効であった」もしくは「有効とは言えなかった」のい

事業について、「評価できる点」もしくは「何が良くなかったのか」、「考えられる原因、改善策は何か」といった意

※令和7年度に草津市まち・ひと・しごと創生推進懇話会を開催し、令和6年度事業終了後の重要業績評価(KPI)の実績値等を報告するとともに、外部の視点による客観的な評価をいただく。